

環境方針と環境管理体制

CSR委員会環境安全部会は、事業を支える継続的な環境取り組みとして、NISSHAグループの事業活動に応じたマネジメントシステムを運用しています。環境マネジメントシステムISO14001や、安全衛生マネジメントシステムISO45001、さらにお客さまから順守要請を受けた取り組み項目を含む独自の環境安全衛生マネジメントシステムを国内当社グループの拠点で構築・運用し、継続的改善をすすめています。これらの活動を通して、法令の順守だけでなく、電子部品や自動車業界などの行動規範であるRBA（Responsible Business Alliance）の行動規範などグローバルな基準の順守に努めています。

国内当社グループの環境方針は、事業の発展と持続可能な社会の実現を目指すことを掲げています。社員一人ひとりに方針の浸透を図るとともに、国内当社グループの環境中期目標である「NISSHAグループ環境目標」の達成に向けて工場や組織ごとに目標を定め、活動計画に沿って取り組んでいます。環境目標はKPIとも連動しており、日々の業務に直結しています。

環境安全部会は、環境安全管理責任者と関連部門や拠点ごとに選任される委員会メンバーで構成され、経営層の統括指揮のもと総務部環境安全グループが事務局として運営を担っています。事業を支える基盤をより強固にするため、RBAなどの順守体制の構築・維持のほか、当社のESG評価*の向上などを目指して活動しています。これらの活動を通して国内当社グループの環境および安全衛生のリスク管理を推進し、事業の継続を支えています。

*ESG評価：環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の観点から企業を評価する手法

環境方針

NISSHAグループは、グローバル社会の一員として、地球環境に配慮した企業活動により、事業の発展と持続可能な社会の実現を目指す。

1. 汚染の予防
適用される法令や地域との協定を守り、製品の開発や設計、材料、生産、販売、設備など企業活動のすべての面から、環境汚染の予防に努める。
2. 製品の安全
お客さまとの約束を守り、安全で環境に配慮した製品を提供する。
3. 地球温暖化防止
資源やエネルギーの効率的な使用により、地球温暖化防止に貢献する。
4. 継続的改善
環境マネジメントシステムを構築し、事業環境の変化に応じて見直しを行うことにより、継続的な改善を図る。
5. 社会との共生
環境の取り組みを通じて、お客さま、株主、サプライヤー、社員および地域社会との開かれた対話を推進する。

2012年4月1日

NISSHA株式会社
代表取締役社長 兼 最高経営責任者
鈴木 順也

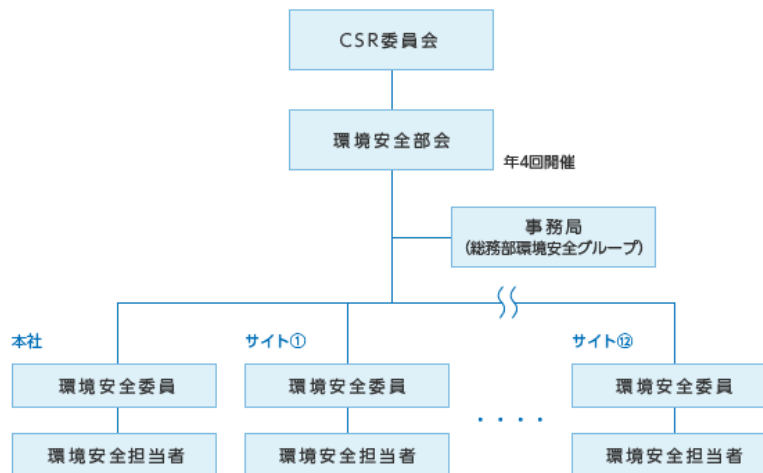
実行性をともなう環境マネジメントシステム（EMS）を運用

国内NISSHAグループの環境マネジメントシステムは、主要な生産工場だけでなく、環境負荷の少ない小規模な生産工場や営業拠点を含むすべての拠点を適用範囲としています。さらに適用範囲をISO14001の認証取得拠点と非認証拠に分けて、それぞれの拠点に応じた重点管理項目を絞り込み、取り組んでいます。そして内部監査などを通じて確認・是正することにより、実効性をともなう環境マネジメントシステムを運用しています。

特にISO14001認証取得する主要生産工場では、環境リスクアセスメントによるネガティブリスクの維持・管理・改善とともに、業務目標や品質目標と同期した環境パフォーマンス改善などをポジティブリスクとして捉えています。これらのリスクを評価し具体的な活動に落とし込むとともに、ISO14001の規格で求められている戦略的な環境管理に向けた手順の順守や法的要求事項に対応し、事業とリンクさせた環境マネジメントを実践しています。さらに、環境の内部監査と安全衛生の内部監査を統合して、より効率的な内部監査体制を構築・運用しています。内部監査の基準は、ISO14001のほかRBAやお客さまの行動規範も含んだ内容となっています。

このように国内当社グループは、関係法令やお客さまの要求事項の順守とともに戦略的な環境管理を推進することによって、環境管理水準の向上に繋がっています。今後は国内当社グループにおける環境マネジメントシステムの運用に加え、中期経営計画の定める重点市場向けの生産を担う海外の重要な生産拠点の環境リスクの把握をすすめます。

NISSHAグループ環境管理体制



エネルギー管理・環境連絡体制

